

## 部門データ（サブデータ）の入力・出力

有限会社シンシステムデザイン

遠隔地で入力した部門データを取り込みたい場合、VPN 環境を作ってオンラインネットワークで運用する方法と、オフラインで部門データをインポートする方法があります。

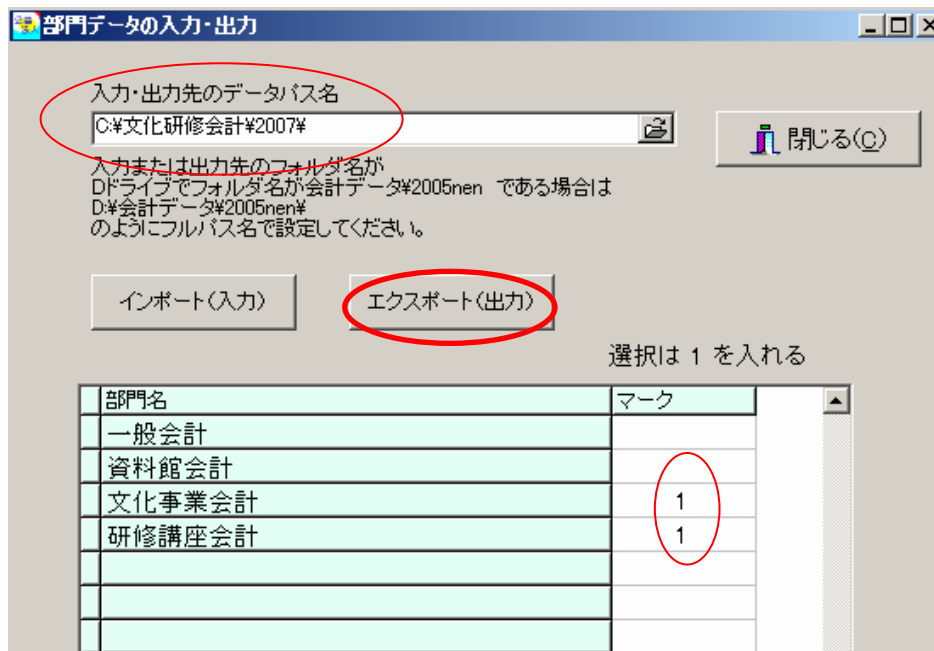
後者での運用は、外部で入力したサブデータを入力するのみですが、運用の開始時にエクスポート（出力）を実行すると、外部で入力するサブデータフォルダが作成できます。あらかじめ繰越金設定や予算入力をメインデータで行ってから外部出力を行うと、遠隔地での作業は伝票入力のみになります。

### （部門データ出力）

- 補助作業メニュー ⇒ 部門データの入力・出力 の画面を出します。
- 最初の作業

下図の例のように入力・出力先のデータパス名を設定します。指定したデータパス名が存在しない場合は、自動的にフォルダが作成されます。

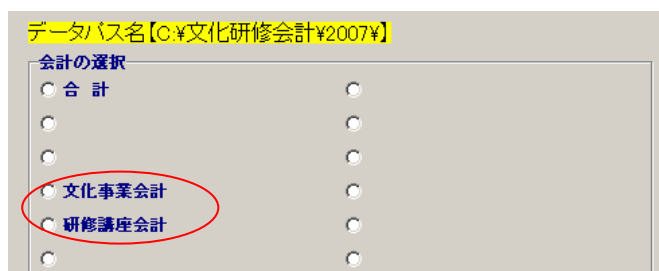
次の入力・出力をしたい部門に” 1 “のマークをつけます。



- 部門データの出力

エクスポート（出力）のボタンを押してください。この操作により外部で入力する会計のデータ（サブデータ）が作成されます。

外部出力したデータフォルダをコピーして移動して、遠隔地のパソコンで会計ソフトを起動してデータパス名を設定すると次のように出力した部門のみがメニューに出ます。



### (部門データ入力)

- 補助作業メニュー ⇒ 部門データの入力・出力 の画面を出します。  
部門出力の時に設定した画面がそのまま出てきます。

部門名	マーク
一般会計	
資料館会計	
文化事業会計	1
研修講座会計	1

- 部門データのインポート（入力）  
インポート（入力）のボタンを押すと、外部で入力したサブデータはメインデータに取り込みが出来ます。

### (運用上の注意点)

- データの受け渡しは、圧縮ファイルにして行くと、電子メール等へ添付して行うことが出来ます。
- インポート（入力）したデータによりメインデータは上書きされますので、修正伝票等は必ずサブデータで行うようにしてください。



- 新年度更新処理はサブデータでも出来ますが、一般的にはメインデータで新年度更新処理を行って新年度会計のスタート時点で、一度だけエクスポートするようにすると、全体として統一された運用が出来ます。

